

お祖師さまをお訪ねする物語

第1回



高祖日蓮大士ご降誕 800年慶讃

新年を迎えて今月号からは、平成三十四年（二〇二二）にお迎えする、お祖師さま（高祖日蓮大士）のお誕生八百年を記念する特集を行います。今年と来年は、お祖師さまのご足跡（お尋ねになられた場所）を紹介し、続いてご二代記（人の一生の記録）。そしてお祖師さまを巡る人々と、お祖師さまの物語を楽しみにね！

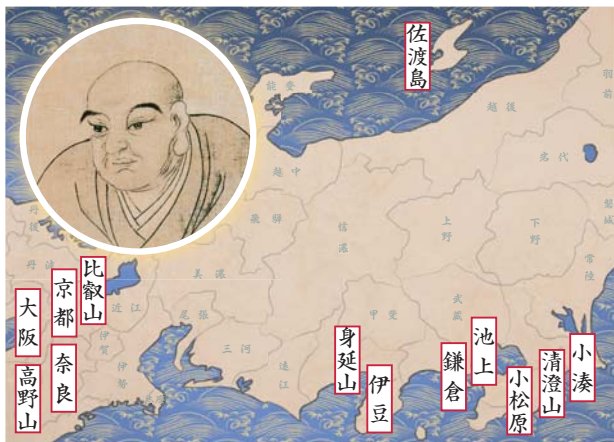
お祖師さまの11生

お祖師さま（高祖日蓮大士）は、承久四年（一二二二）二月十六日、安房の国東条郷小湊（千葉県鴨川市小湊）でお産まれになるんだ。そして十二歳の時、両親の元を離れて近くにある清澄寺に入って、十六歳の時に得度（お坊さんになること）されるんだよ。そして十七歳になると当時（鎌倉時代）の日本の政治の中心地、鎌倉（神奈川県鎌倉市）に出て勉強に励まれるんだ。

二十一歳の時、今度は文化の中心地である京都や、古くから仏様の教えを伝えて来た近畿（滋賀県、奈良県、和歌山県、大阪府）のいろいろなお寺で勉強に励まれるんだ。それが十一年も続くんだよ。

その勉強の成果もあり、三十二歳の時、故郷に戻られて、法華経の御題目のご信心を弘めることを宣言する立教開宗（建長五年四月二十八日）をされるんだ。

しかし、そのことで大勢の人々から憎まれ、責められて故郷を追われ、鎌倉で教えを弘めることになるんだね。



お祖師さま（日蓮大士）の歩まれた場所

（山梨県身延町）に入られるんだ。弘安五年、湯治（温泉地に長期間住んで療養すること）のため常陸（茨城県）の国に向かわれたんだけど、十月十三日武蔵の国池上（東京都大田区池上）で亡くなられたんだ。六十一歳だったんだよ。

足跡をお訪ねして

このお祖師さまの歩まれた場所を、西から順番に紹介してゆくの。来月からは近畿地方、そして身延、伊豆、鎌倉、池上と東へ向かい、佐渡島をはさんで、ご誕生の地、千葉県を旅する物語になります。

お祖師さまがおられたところより八百年が過ぎていくけれど、そのご縁があった場所の今を、写真とイラストで紹介してゆくの。期待してね！

ところが、鎌倉でも三十九歳の時、松葉谷の法難（文応元年八月二十七日）。四十歳の時には、鎌倉幕府から、伊豆（静岡県伊豆半島）に島流し（文応二年五月十二日）になり、二年後には赦されて故郷に戻られるんだけど、そこで小松原の法難（四十三歳・弘安四年十一月十一日）に遭い、鎌倉でご弘通（仏様の教えを弘めること）に励まれていた文永八年には、龍口法難（五十歳・九月十二日）で危く殺されそうになり、佐渡島（新潟県佐渡市）に島流しになられるんだ。

佐渡島には三年の間おられたんだ。そして文永十一年、五十三歳の時に赦されて鎌倉に戻られ、鎌倉幕府に対して、仏様の真実の教えを伝えられるんだけど、分つてもらえず、とうとう五月十七日に身延山



お祖師さまがお住まいになられていた比叡山横川の定光院に建てられた立像



奈良市油坂にある蓮長寺の参門。お祖師さまの奈良での勉強の地と記された碑が建てられている



お祖師さまが一年近く滞在されて勉強された高野山寂靜院山門には題目碑が建立されている